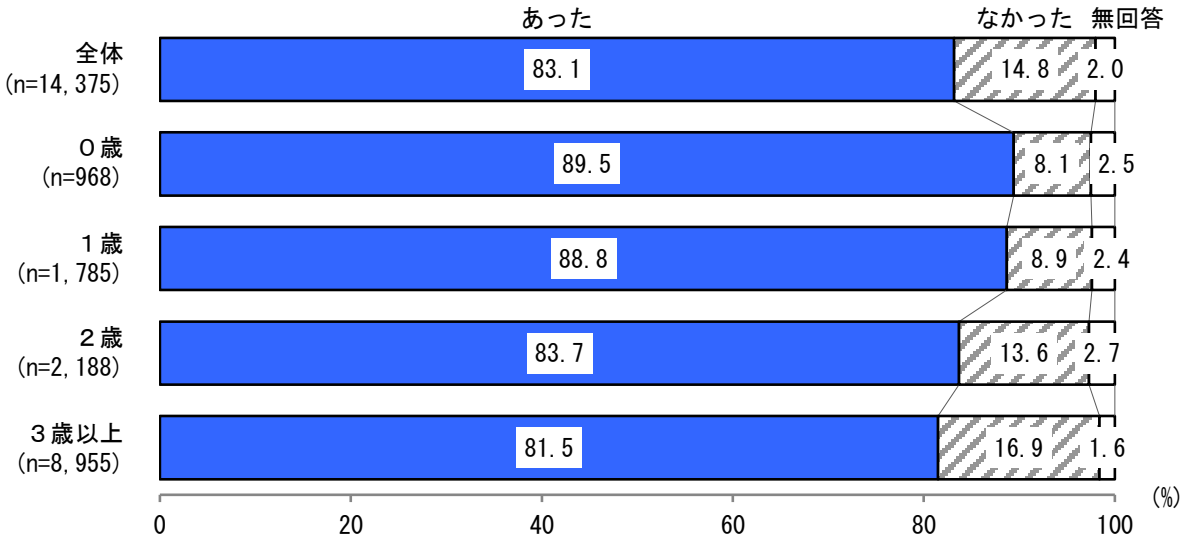
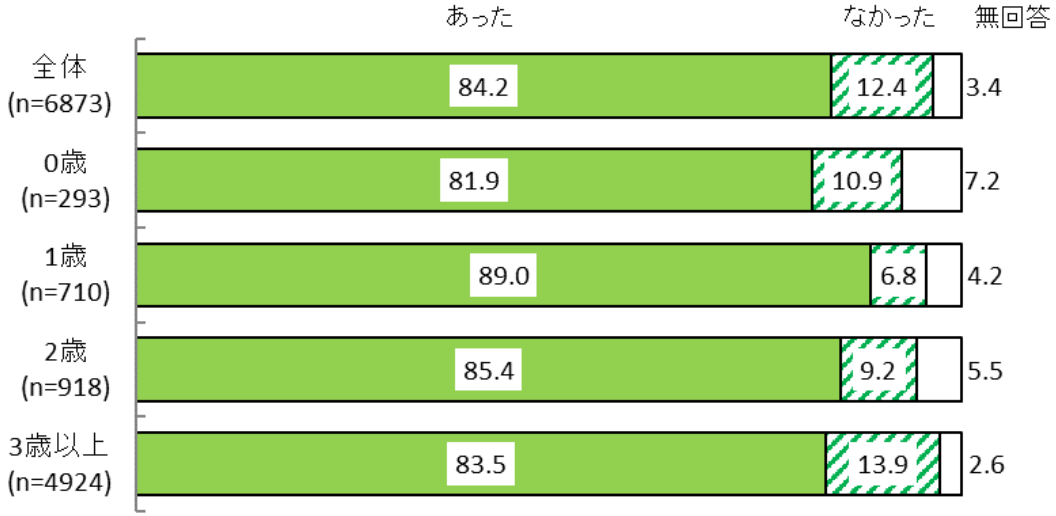
こどもが病気等でサービスを利用できなかったことの有無【問１６】

- こどもが病気等でサービスを利用できなかったことの有無については、「あった」が83.1%、「なかった」が14.8%となっている。
- こどもの年齢別でみると、「あった」は０歳（89.5%）で最も高く、年齢が上がるほど割合が低くなっている。
- 平成25年調査の結果に比べ、0歳は「あった」と回答した割合が高くなっているが、その他の年齢では低くなっている。

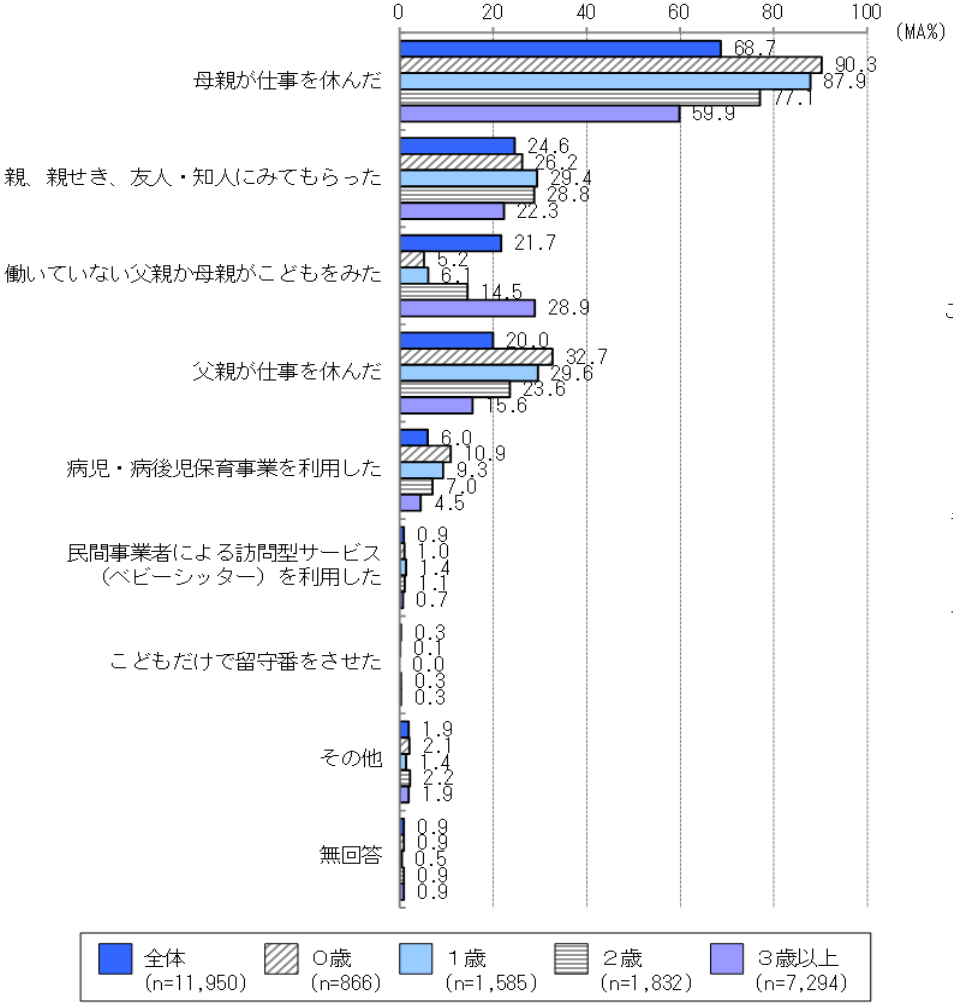


《参考》平成25年調査

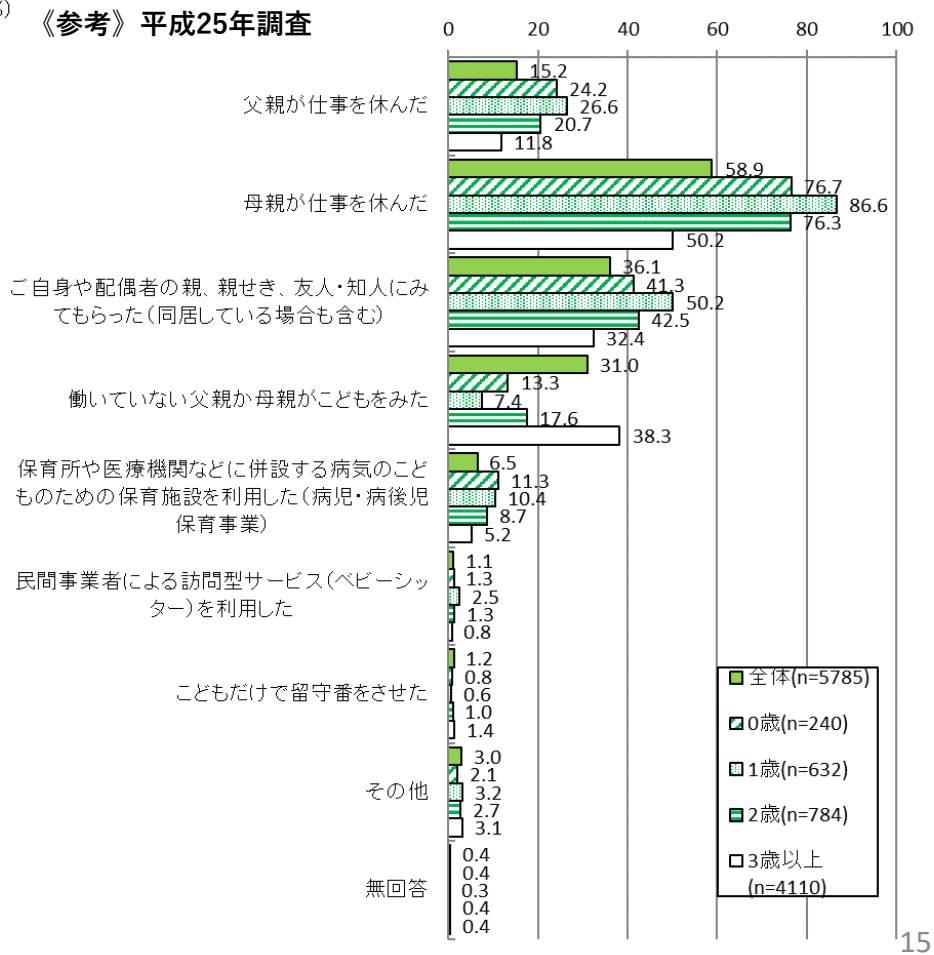


病気等でサービスが利用できなかったときの対処方法【問１６－１】

- こどもが病気等でサービスを利用できなかったことがあったと回答した人に、そのときの対処方法についてたずねると、「母親が仕事を休んだ」が68.7％で最も多く、次いで「親、親せき、友人・知人にみてもらった」が24.6％、「働いていない父親か母親がこどもをみた」が21.7％となっている。
- こどもの年齢別でみると、「母親が仕事を休んだ」、「父親が仕事を休んだ」、「病児・病後児保育事業を利用した」は０歳で最も高く、年齢が上がるほど割合が低くなっている。
- 平成25年調査の結果に比べ、「母親が仕事を休んだ」（9.8ポイント増）、「父親が仕事を休んだ」（4.8ポイント増）は高くなり、「親、親せき、友人・知人にみてもらった」（11.5ポイント減）、「働いていない父親か母親がこどもをみた」（9.3ポイント減）は低くなっている。

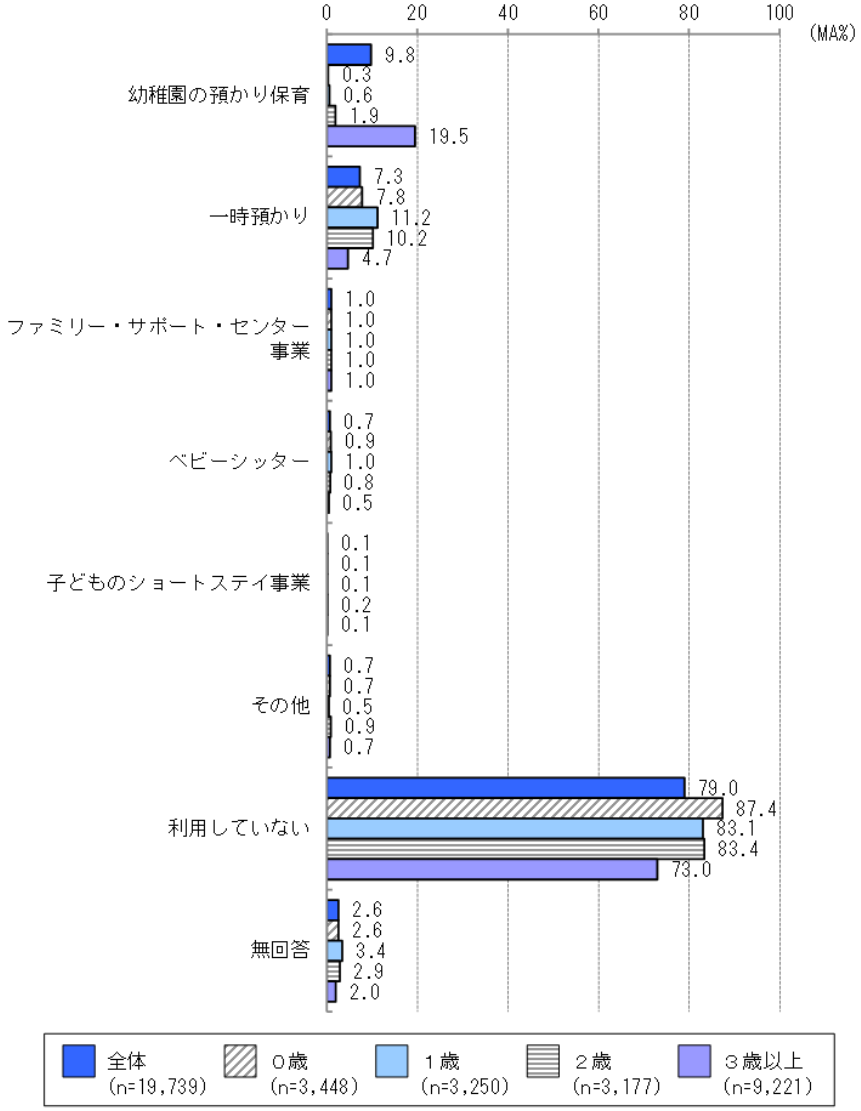


《参考》平成25年調査

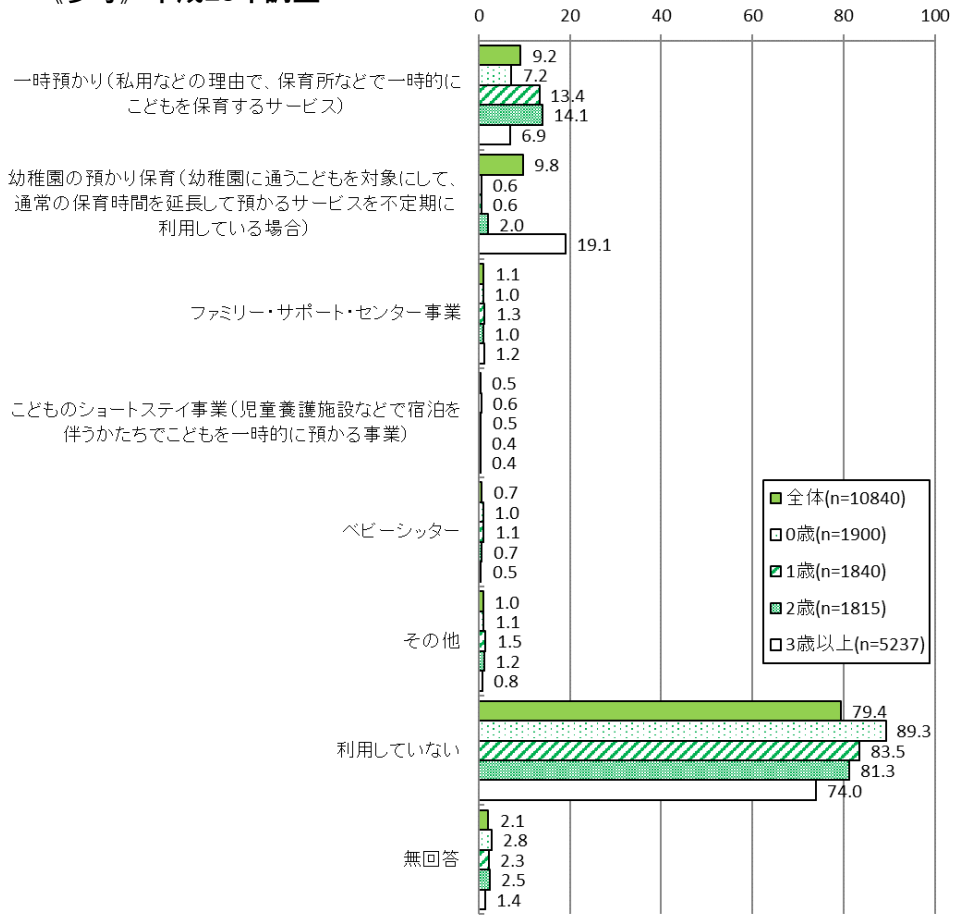


こどもを預かる施設やサービスの不定期な利用状況【問１７】

- 一時預かり等のサービスの利用状況については、「利用していない」が79.0％で最も多いが、利用した人では「幼稚園の預かり保育」が9.8％で最も多く、次いで「一時預かり」が7.3％となっている。
- こどもの年齢別でみると、「幼稚園の預かり保育」は３歳以上（19.5％）で最も高く、「一時預かり」は１歳と２歳で10％強となっている。
- 平成２５年調査の結果と同様の傾向である。

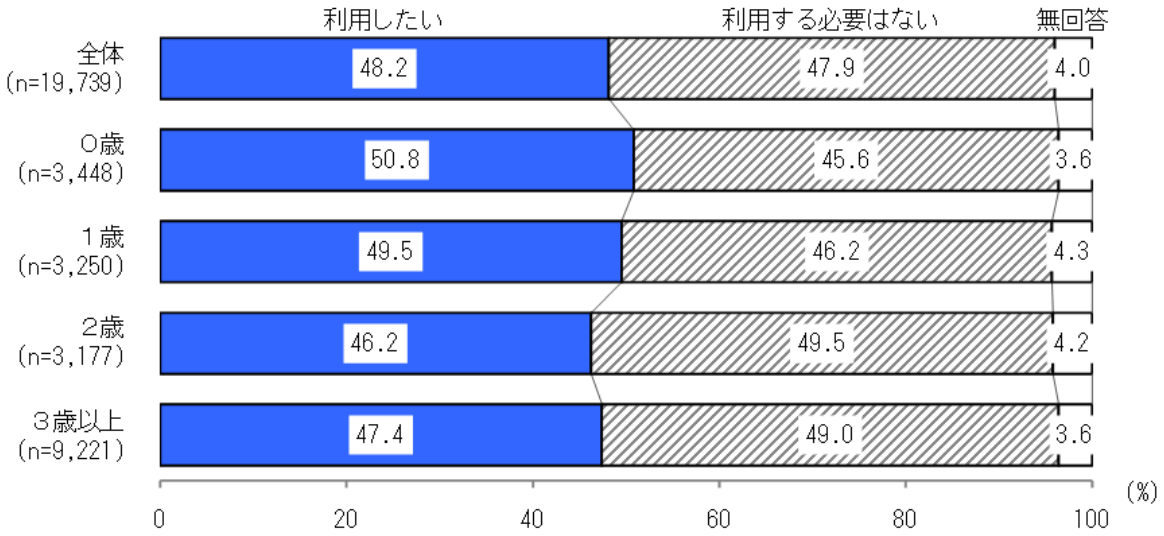


《参考》平成25年調査

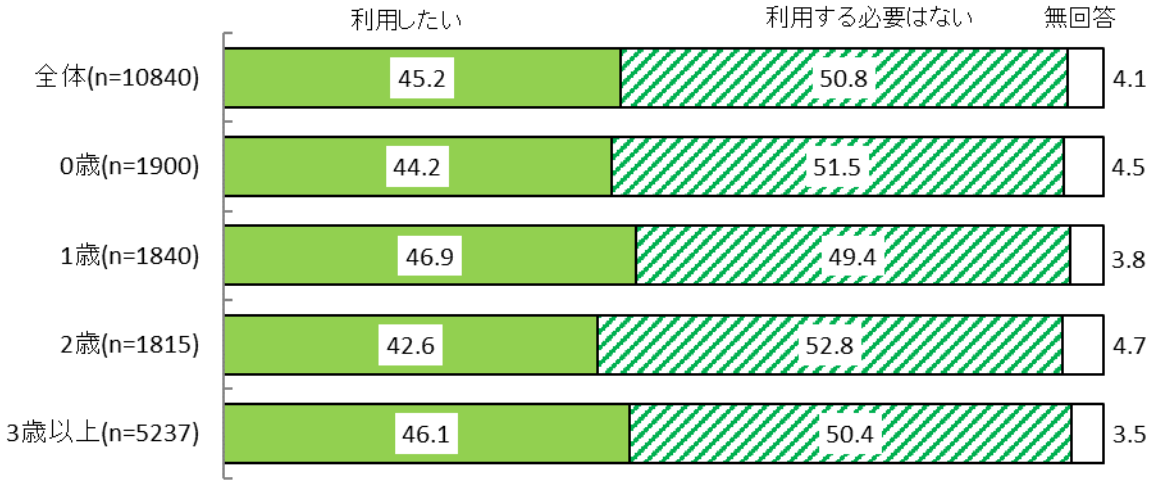


一時預かり施設やサービスの利用希望【問１８】

- 一時預かり施設やサービスの利用希望については、「利用したい」が48.2%、「利用する必要はない」が47.9%となっている。
- こどもの年齢別でみると、「利用したい」は０歳（50.8%）で最も高くなっている。
- 平成２５年調査の結果に比べ、０歳で「利用したい」が6.6ポイント高くなっている。

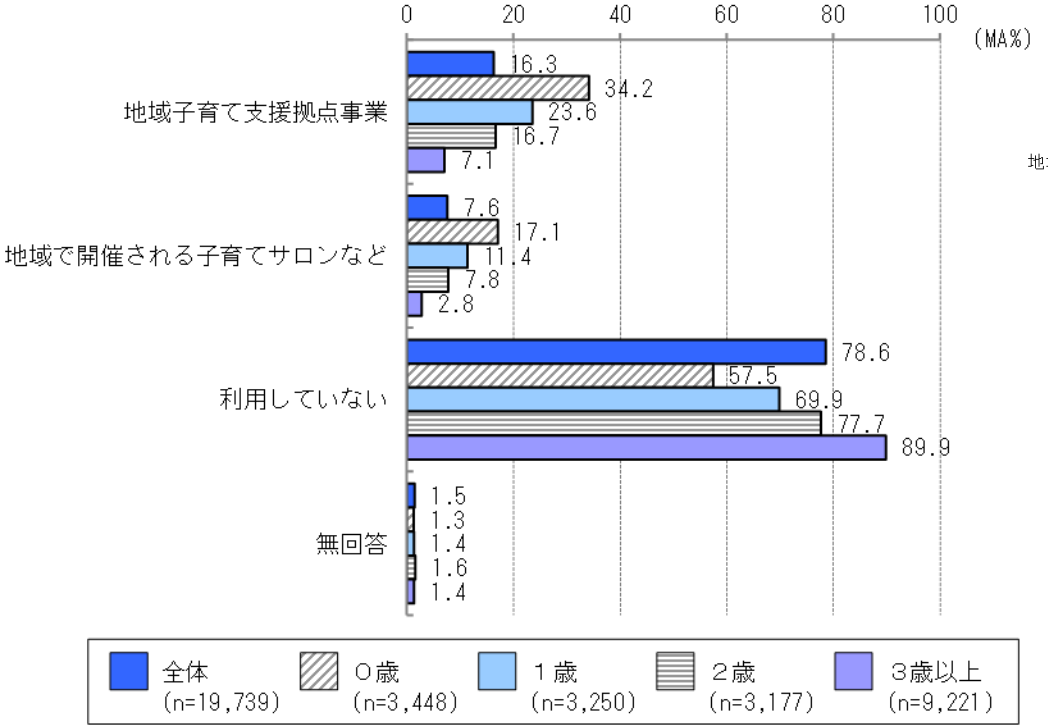


《参考》平成25年調査

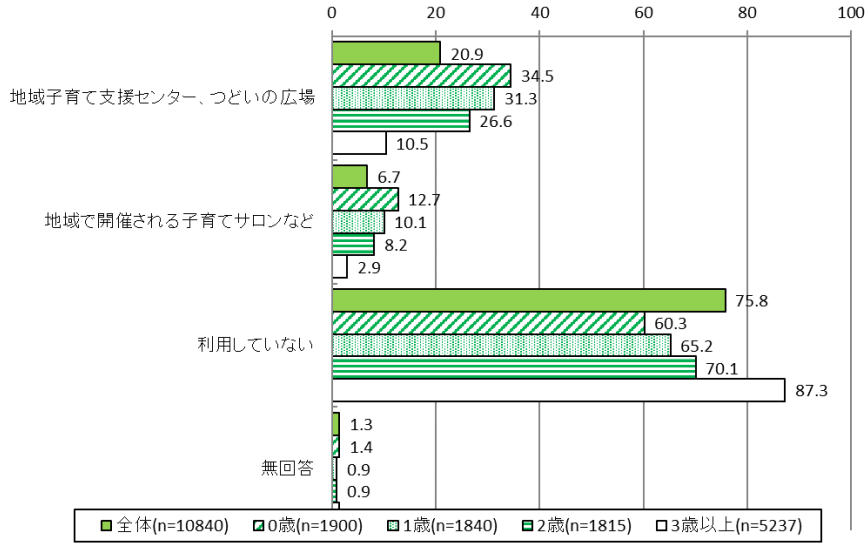


地域子育て支援拠点事業などの利用状況【問２０】

- 地域子育て支援拠点事業などの利用状況については、「利用していない」が78.6％で最も多く、利用している人では「地域子育て支援拠点事業」が16.3％、「地域で開催される子育てサロンなど」が7.6％となっている。
- こどもの年齢別でみると、「地域子育て支援拠点事業」、「地域で開催される子育てサロンなど」とも０歳が最も高く、年齢が上がるほど割合が低くなっている。
- 平成25年調査の結果に比べ、地域子育て支援拠点事業（平成25年調査では「地域子育て支援センター、つどいの広場」）は1歳児で7.7ポイント低くなっている。

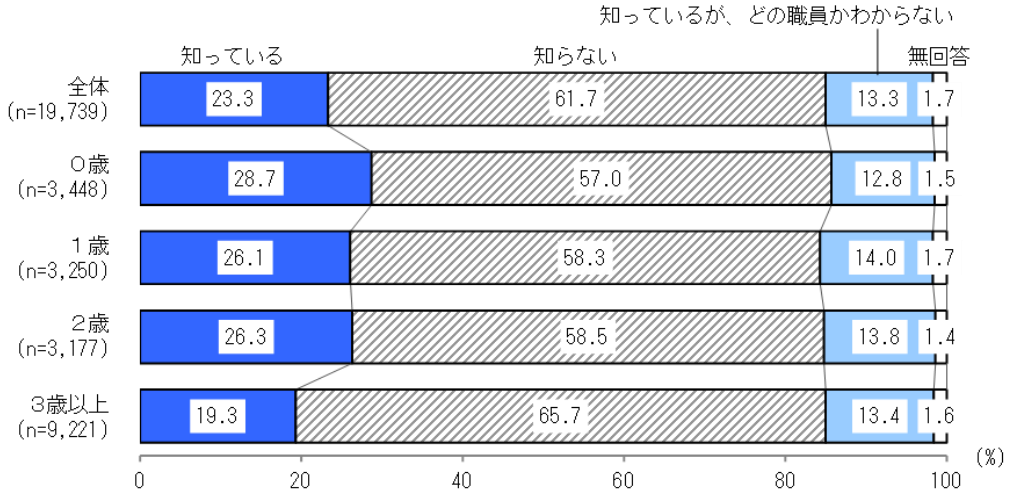


《参考》平成25年調査

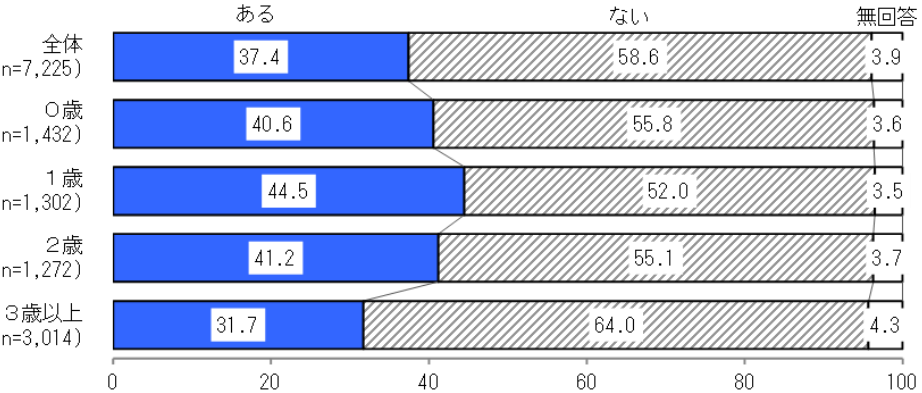


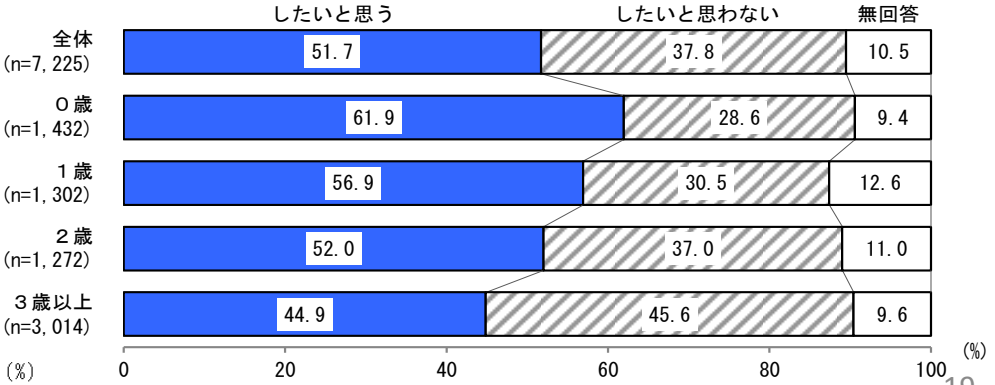
利用者支援専門員の認知・利用状況・利用希望【問２２、問２２－１】

- 利用者支援専門員の認知状況については、「知らない」が61.7％で最も多く、次いで「知っている」が23.3％、「知っているが、どの職員かわからない」が13.3％となっている。
- こどもの年齢別でみると、「知っている」は０歳（28.7％）で最も高く、３歳（19.3％）で最も低くなっている。



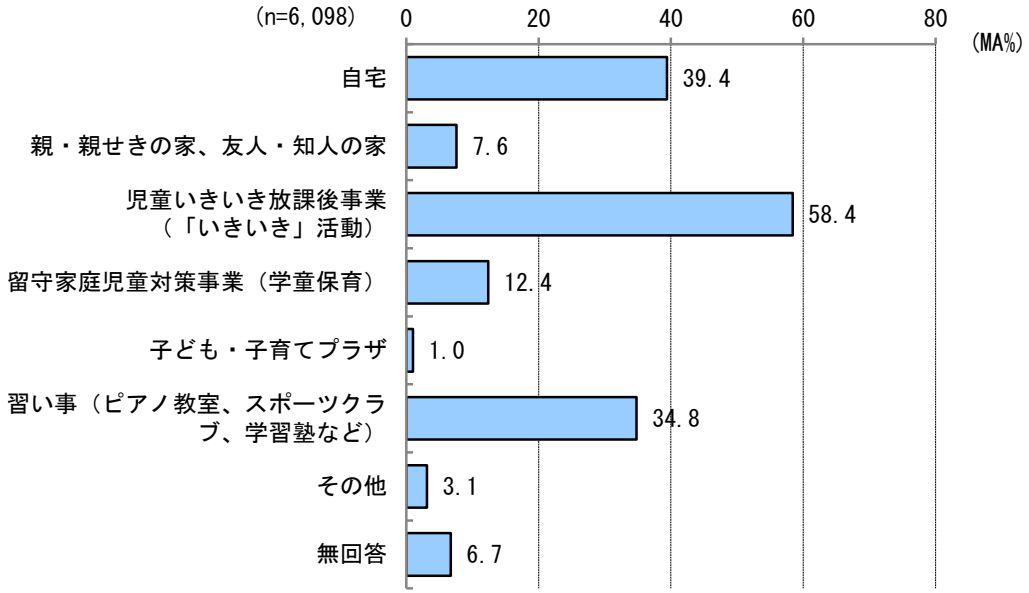
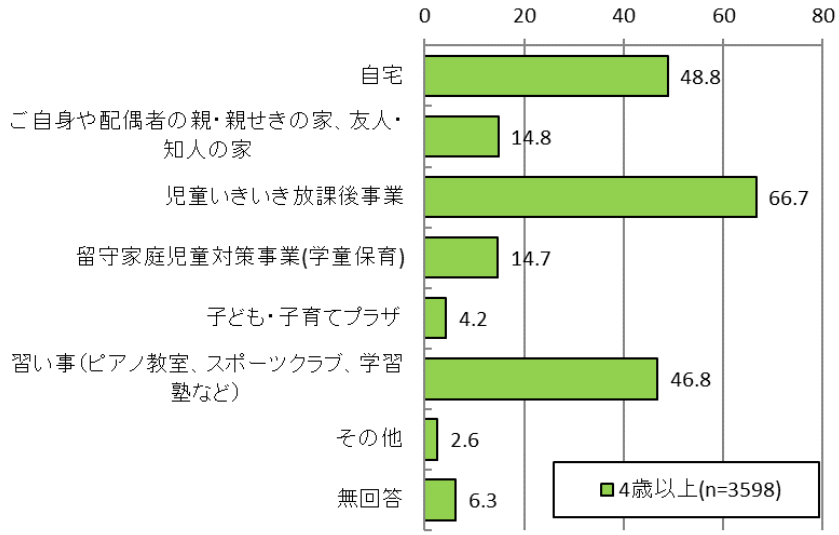
- 利用者支援専門員を知っていると回答した人に、利用支援専門員に相談したり情報提供を受けたりしたことの有無についてたずねると、「ある」が37.4％、「ない」が58.6％となっている。
- こどもの年齢別でみると、「ある」は１歳（44.5％）で最も高く、０～２歳で40％台を占めている。
- 今後、利用支援専門員に相談したり情報提供を受けたりする希望については、「したいと思う」が51.7％、「したいと思わない」が37.8％となっている。
- こどもの年齢別でみると、「したいと思う」は０歳（61.9％）で最も高く、年齢が上がるほど割合が低くなっている。





こどもが小学校低学年の間に、放課後過ごさせたい場所【問２４】

- ４歳以上のこどもが小学校低学年の間に、放課後過ごさせたい場所については、「児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）」が58.4％で最も多く、次いで「自宅」が39.4％、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が34.8％となっている。
- 平成25年調査の結果に比べ、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が12ポイント、「自宅」が9.4ポイント、「児童いきいき放課後事業」が8.3ポイント低くなっている。



《参考》平成25年調査